

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 9月30日更新

事務事業名		財政計画進行管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	総務部
	施策	24	行財政改革の推進		所属課	財政課
	基本事業	87	健全な財政計画の策定		所属班	財政班
課長名						中島正剛
担当者名						鍛野文昭
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 20 ~ 27 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	
						成果優先度評価結果 : ⑩ コスト削減優先度評価結果 : ⑥

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	・平成22年度までの予算編成は、平成19年12月に策定した「財政計画」を基本に、年度ごとの事情を加味しながらおこなってきた。しかし、財政計画の策定時から日本全体の経済状況や国の制度が大きく変化してきており、本市においても現状にあった財政計画の見直しが必要となっていた。平成22年度は、市総合計画の第2期基本計画の策定が行われたので、財政計画もこれに合わせて見直しを行ったものである。今後は、この財政計画の検証を行いながら次年度以降の予算編成をおこなわなければならない。 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)
【業務の流れ】	※各年度決算(7月)→①数値比較及び要因分析(8月)→②再将来予測(基金及び市債残高)(9月)→③翌年度予算編成の基礎資料として活用(予算総枠提示(11月))→④当初予算編成(11月～1月)→⑤当初予算と財政計画の比較及び要因分析(2月) ※計画の見直しについては、①資料収集(8月～9月)→②計案作成(10月～11月)→③完了(12月)
【主な予算費目】	事業費予算はなし
【意見や要望】	・H21.2月に住民の方から、「市債残高が今後増加していく中でどのように返済していくのか」旨の質問があった。・H21.9月議会で「市債残高の推移について」一般質問がなされた。・H21.3月議会で「今後の財政計画の見直しについて」一般質問がなされた。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO) ※各年度決算(7月)→①数値比較及び要因分析(8月)→②再将来予測(基金及び市債残高)(9月)→④翌年度予算編成の基礎資料として活用(予算総枠提示(11月))→⑤当初予算編成(11月～1月)→⑥当初予算と財政計画の比較及び要因分析(2月) ※計画の見直しについては、①資料収集(8月～9月)→②計案作成(10月～11月)→③完了(12月)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 次年度予算編成に活用するための進行管理を行う
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 進行管理に要した日数	日
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
財政計画(歳出予算規模)	(単位) 千円
	→ ア: 財政計画での歳出予算規模
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
適正な算定を行うことで、財政計画の歳出予算規模と当初予算編成がされる。	(単位) %
	→ ア: 当初予算額/歳出予算規模
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 計画通りに進める必要があるため	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	日	30	30	60	0	30	30	0
	イ								
	イ								
② 対象指標	ア	千円	15,345,294	16,568,985	14,614,188	16,802,000	16,468,000	16,493,000	0
	イ								
③ 成果指標	ア	%	100.4	100	100	115	100	100	0
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	1	2	2	5	2	1	0
	延べ業務時間	時間	240	575	500	512	500	250	0
(B) 人件費計	千円	960	2,288	1,990	2,109	2,060	1,030	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	960	2,288	1,990	2,109	2,060	1,030	0	

総トータルコスト
全体計画
～27年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	財政計画進行管理事業	所属部	総務部	所属課	財政課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は22年度事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 平成22年度に見直しを行ったので、平成23年度から平成27年度までの予算規模が確認でき、平成23年度予算も計画に沿った編成ができた。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成22年度に財政計画書の見直しを行ったことにより、平成23年度以降の予算編成がより計画的できるようになり、成果向上に結びつく。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費はないため削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 人件費については事務事業を行うための必要な延べ時間であり削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 この事務は市の財政運営にかかるもので、特定の受益者はおらず、全市民に係るもので公平となっている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 この事務は市の財政運営にかかるもので、他には移行できない。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成22年度計画通り財政計画自体の見直し見直しができ、平成23年度予算も計画に沿った編成ができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>平成22年度計画の見直しを行ったので、今後年度の進行管理を行い、予算に反映させていく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						